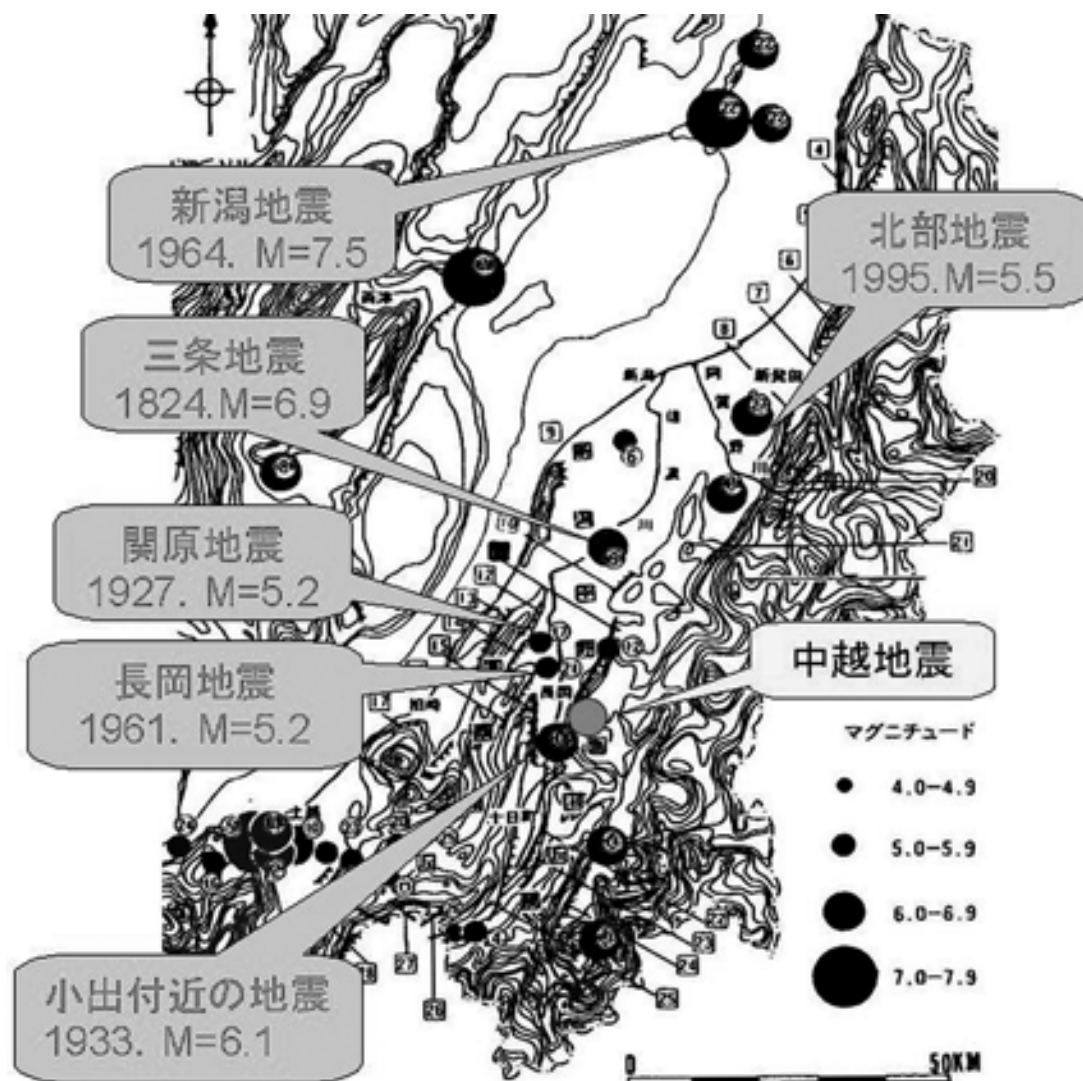


大地から学ぶ越路の

おいたち



【主な内容】

- ・ 中越地震と大地の会の活動
- ・ 中越地震で発生した建物の被害と地盤 大地の会顧問：山崎興輔
- ・ 平成18年度地学講座

－中越地震から学ぶわが家の地盤補強と耐震対策－

中越地震と大地の会の活動

小川 幸雄

地震講座開催中の中越地震

平成 16 年は新潟地震発生から 40 周年にあたることもあって、秋の地学講座は「山地・丘陵の成長と平野の沈降」―信濃川の地震と活断層を探る―をテーマに開催していました。

9 月 24 日、10 月 8 日と講座を開催し、10 月 24 日の日曜日には「越後平野の地盤変動と人の関係を見る」と題し、峰岡丘陵の活断層と変動地形をはじめとする越後平野の巡検を予定していました。中越地震はまさにその前日の出来事でした。

10 月 23 日（土）17:56 発生の中越地震は私たちのこれまでの生活を一変させた大災害で、この体験は生涯忘れることのできないものと思います。

大地の会は昭和 58 年から 10 年にわたる教育委員会主催の地学講座「大地から学ぶ越路町のおいたち」の終了を契機に越路町で 10 年続いた「地学学習の灯」消したくないというみんなの思いで平成 4 年 12 月に結成されました。

地学講座と巡検（野外観察会）が活動の主体で、平成 5 年からの活動の中でも水害や地すべり、地震に伴う大地の変動は大きなテーマでありたびたび講座に取り上げてきたところです。

中越地震緊急報告会

このような大地の会が、現実の中越地震という大災害に直面し、この地域のためにできることは何か。会員の方からは「一体地下では何が起きている？」「まだ続くのか？」「どうして同じ地震に遭って被害が隣の家と違うのか？」など多くの疑問が寄せられました。

地震と大地の変動を中心に研究を行われている飯川先生をはじめ、大地の会顧問の先生方は、地震発生直後から各地域の被害調査を実施しておられ、被害と地盤の関係が明らかになりつつあった 12 月 19 日、地震発生から 2 ヶ月たないときに他の団体に先駆けて「中越地震緊急調査報告会」を開催しました。

報告会は越路商工会館で実施、予想を遙かに

上回る 140 名の参加者があり、熱心に活発な質疑応答が交わされました。



緊急報告会受講風景

内容は、地震の基礎知識、町内の被害状況と特徴、被害と地質・地形の関係について、大地の会顧問の山崎興輔氏及び吉越正勝氏から講演して頂きました。

この緊急報告会の開催は多方面の方々から評価をいただき、地域での役割を少し果たせたと思っています。

中越地震関連の巡検と講座の開催

平成 17 年度からの大地の会の活動はすべて中越地震をテーマとするもので構成しています。

- 17.4.16 巡検：越路西谷、小千谷、川口（田
麦山・武道窪）、妙見、蓬平
- 17.6.24 講演：「中越地震の発生機構と地質
構造」鈴木尉元氏
- 17.9.13～10.25 地学講座「中越地震と地盤災
害の教訓」小林巖雄氏 山崎興輔氏
飯川健勝氏
- 17.10.16 巡検：旧山古志村 青木 勝氏
- 18.5.7 巡検：西谷、片貝、山本山、妙見
- 18.6.23 講演：「中越地震で発生した建物被害
と地盤」山崎興輔氏

巡検についてはいずれも定員を超える申し込みがあり関心の高さを伺わせます。中でも山古志地域の巡検について、行政関係者や研究者以外、一般の市民団体が山古志地域に入るのは

初めてとのこと。参加者は山古志地域のすさまじい被害に声も出ない様子は印象的でした。



旧山古志地域池谷

平成 18 年度の地学講座

今年度の地学講座はこの会報に詳細を掲載していますが、中越地震の教訓を私たちの生活に活かすことの一つの視点として、住宅の地盤補強・耐震対策に重点をおき、講座を組みました。巡検は長岡市内で施工中の住宅の地盤改良工事の実際を見学するとともに、9月3日の開通が予定されている国道 291 号をとおり山古志地域で今まで入れなかった木箆集落を水没させた河道閉塞ダムと現在国土交通省湯沢砂防事務所で行われている砂防ダムなど復旧工事の状況を見学します。



芋川の河道閉塞

中越地震体験集の発刊

大地の会中越地震体験集の発刊については、おいたちの 47 号で内容を紹介しました。

ここではその後の動きをお知らせします。

■体験原稿の収集について

8 月末の編集会議で体験執筆者のリストを作成しました。その結果体験執筆者は 83 名、地域別の執筆者内訳は

越路地域 14 旧長岡市 12 栃尾地域 7
小千谷市 23 山古志地域 7 小国地域 5
川口町 9 その他の地域 6

となっています。集まっている原稿は約半数。

今後、原稿収集と校正・編集作業を行うこととしています。なお、この編集の責任者は中野雅子さんを中心に、松井直子さん永井千恵子さんが担当します。

■中越復興市民会議からの助成を獲得

市民サイドから中越地震の復興を支援しようと設立された中越復興市民会議は、県の中越地震復興基金の復興ネットワーク事業を展開しており、大地の会の地震体験集発刊事業がその助成対象として認められ、体験集の印刷費のほぼ全額が助成される見込みとなりました。

大地の会が中越地震発生からの緊急報告会地震関連講座の開催の実績が評価され、体験集が単なる文集でなく、中越地震の教訓を将来の防災につなげていく内容との評価されたものと考えています。この体験集の編集に多くの会員の方の参画を望んでいます。

賛助会員に感謝

平成 18 年度の活動の前に大地の会の活動を支援していただく賛助会員を各団体をお願いしたところ、越路地域や旧長岡市に拠点を置く 9 社からご賛同いただきました。

大地の会の地域に根ざしたにこれまでの活動、特に地学マップの作成や中越地震についてわかりやすく解説する連続講座、体験集発刊の取り組みが評価されたものと思っています。

大地は時として大きく活動しその存在を主張します。この大地の成り立ちを学ぶことを基調としながら地域づくりに貢献する団体として活動していくことを役員一同確認し、想いを新たにしているところです。